



細川茂樹 アプリ開発プロジェクト

■ 安蔵靖志 IT・家電ジャーナリスト

IT・家電ジャーナリスト。日経BP社「日経ネットプレーン」「日経トレンドネット」などを経てフリーランスに。yasushi@anzo.jp, <http://anzo.jp/>

第6回 開発合宿

開発合宿でアプリをブラッシュアップ

2012年8月初旬に、細川茂樹アプリ開発プロジェクトの中心人物である名古屋大学大学院工学研究科の河口信夫教授の発案によって、アプリ開発合宿が行われることになった。お茶の水女子大学大学院生の平井弘実さんが中心となって開発し、ベータ版として公開した「家電取説アプリ」を、完成版に向けてブラッシュアップするためだ。

河口教授を中心とした名古屋大学のメンバや、平井さんを擁するお茶の水女子大学理学部情報科学科の小口正人研究室メンバに加えて、はこだて未来大学の学生メンバ、札幌在住の日本Androidの会メンバなど数多くの開発者が集まって短期間の合宿を行うことになった。

家電取説アプリはクライアント側のアプリとデータベースサーバによるC/S構成になっており、双方の見直しが必要になる。そこで名古屋大学チームはサーバサイド、そのほかのメンバはクライアントサイドを中心にプログラムの見直しと開発を進めることになった。

平井さんを中心としたAndroidクライアントチーム



開発合宿の様子

は、まずリファクタリング（ソースコードの内部構造の整理）とUI（ユーザインタフェース）の修正から進めた。クライアントアプリはAndroid OSを利用していたが、当初開発していたバージョン（スマートフォン版のAndroid 2.3, コードネーム：Gingerbread）からスマートフォン版とタブレット版が統合されたAndroid 4.0（コードネーム：Ice Cream Sandwich（ICS））になり、UIに大幅な修正が求められたためだ。

Gingerbreadまでは「Menu」「Home」「戻る」の3つのハードウェアボタンが提供されていたが、ICSでは廃止され、Menuボタンという発想も推奨されなくなった。ICS以降ではMenuボタンの代わりに「ActionBar」クラスを使って組み込み直すように推奨されているが、ActionBarクラスを利用するとバージョンごとの違いを吸収しきれなくなるため、採用せずにUIを組み直すことにした。

一方、はこだて未来大学チームはiPhone版アプリの新規開発に取り組むこととなった。家電取説アプリはC/S構成になっているため、サーバ側のAPIとクライアント側のUIが固まればAndroid版とほぼ並行してiPhone版も開発できる。現状ではまだ進められていないが、Webアプリへの移植も可能だ。

Androidクライアントチームは家電製品の検索UIを、メーカー名や型番などのテキストを入力して検索するスタイルに見直した。また、ユーザが自分の家にある家電製品を登録できる「マイ家電リスト」も見直し、ユーザが自分で製品の名前を変えたり、整理したりできるようなスタイルに変更した。

サーバ側はもともと河口研究室が開発環境を提供していたこともあり、名古屋大学チームが中心に開発を進めた。サーバはJavaをベースにしたPlay



開発プロジェクトメンバ（左から）：中島編集長，坂下賢司（(株)キロル），後藤航（名古屋大），長谷川友香（お茶の水女子大），渡邊翔太（名古屋大），平井弘実（お茶の水女子大），小口正人（お茶の水女子大），河口信夫（名古屋大），山本貴文（公立はこだて未来大），権瓶匠（公立はこだて未来大），大路祐介（日本 Android の会）

framework を利用しており，家電製品の基本情報（メーカー名や型番，製造年，画像 URL など）や取扱説明書の URL などの情報をデータベース化してある．クライアント側への API を用意し，クライアント側からの要求にマッチする家電製品のリストを DB から取得して提供する役割を担う．

サーバ側には，クライアントへの API に加えて，ユーザごとのアカウントによる認証機能や，データベースの登録・変更といったメンテナンスを行う機能が求められる．

また，クライアントの機能を煮詰めていく上で，家電製品に対する意見や感想などを書き込める Twitter 連携機能を搭載する方向になった．Twitter へは，クライアントアプリからサーバ側の共通アカウントを経由して投稿するスタイルを採用するため，サーバ側に Twitter へ投稿するシステムを組み込むこととなった．

これまでは平井さんと名古屋大学チームがリモートで連絡しながらクライアント・サーバ連携を進めてきた．だが今回のように合宿スタイルで長時間多数の開発者が参加したことで，多くの課題を発見し，ブラッシュアップすることができた．家電製品リストも当初から大幅に拡充し，幅広くテストできるようになっ

ている．

iPhone 版の開発はこの合宿からスタートしたが，UI や DB にアクセスする API などを確認しながら急ピッチで開発が進んでいる．

現在も開発は進められており，今後さらに機能を拡充する予定となっている．ベータテストも予定されており，今後の公開をご期待いただきたい．

(2012年9月19日受付)

● 開発プロジェクトの現状とお願い ●

新たに外部からの強力な助っ人を加えて行った開発合宿により，トリセツアプリの完成度は一気に高まりました．皆さんに実際に使っていただくまで，あと一步のところまで来ています．現在，さまざまな家電製品に対応するため，トリセツデータベースの拡充を進めています．我々は，未来のトリセツに思いを馳せながら，誰でも便利に使えるトリセツアプリを目指して開発しています．ベータテスターや，トリセツデータベースへのコミッターを改めて募集したいと思いますので，ぜひともよろしく願いいたします．

(河口信夫)